

令和3年度第1回学校運営協議会 議事録

1 日時 令和3年5月14日（水）14：45～16：30

2 場所 湖南高等学校 図書室

3 参加者

委員（敬称略・順不同）

小山 伝一郎、佐藤 忠男、大内 紀男、満田 仁一、二瓶 正仁、酒井 祐治

事務局

遠藤 潤、渡辺 延幸、木村 清志、森 修、伊藤 恵美、五十嵐 稜、大山 洋子

4 内容

（1）開会のことば 満田 仁一副会長

（2）校長あいさつ 酒井 祐治校長

昨年度は皆様のご協力のおかげで、たくさんの行事ができました。中学校の生徒数減少の中、湖南高校では、定員を満たしてはいないが例年よりも多くの生徒が入学してくれました。皆様のご協力のおかげかと思います。今年度はより一層高校の魅力化、地域の活性化に着目した教育活動を実践していきたいと思っています。

「自靖自献」（じせいじけん）を生徒達に伝え、皆様に協力していただきながら進めたいと思っています。よろしくお願いします。

（3）会長あいさつ 小山 伝一郎会長

地域と湖南高校の間に立ち、力になっていくことができればいいなと思います。皆さんにご協力頂きながら頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

（4）副会長あいさつ 満田 仁一副会長

地域に唯一の高校ということで、これからも湖南高校を含め湖南全体をどうするのかということを、皆様と協力しながらやっていきたいと思っています。よろしくお願いします。

（5）協議

① 令和3年度学校経営・運営ビジョン

・そば選手権に出場したい。

- ・昨年度の行事はOBの参加はあったがOGの参加がなかったので今年度はOGに協力してもらい郷土料理を学びたい。
- ・生徒が民話などを学び生徒自身で観光案内でできればいいと思う。
- ・東京国際大学の先生の協力をいただき、湖南の観光について生徒と共に活動していきたい。

② 令和3年度学校運営協議会活動報告

コミュニティー・スクール事業「蕎麦プロジェクト」について

③ 令和3年度学校運営協議会活動計

④ 開かれた学校づくりのための意見交換

●地域・学校の魅力化～「蕎麦プロジェクト」～

- ・湖南高校生主体のそば祭りを湖まつりや布引高原祭り、湖南町の文化祭で行うのはどうか。

●湖南高校応援隊～地域の人的・物的資源活用～

- ・横沢の湖南湖畔の村を活用
 - 自転車 30 台保有（無料貸し出し）
 - 宿泊も可能
 - 蕎麦打ち
 - キャンプファイヤー等
- ・湖南公民館の活用
 - 湖南文化祭にボート競技用ボートの展示
- ・地元企業の社長等による地域の方の面接指導（9/16に向けて）

●行ったり来たりしませんか～行事・イベントに相互参加～

- ・湖南の郷土料理などをいろいろな方に来ていただいて教えてもらう。
- ・郷土料理のレシピを作る。（横沢にレシピ作成例あり）

●蕎麦プロジェクト／六次化～総合的な探求の時間～

- ・提携業者の選定や衛生管理者等の課題が残る。
 - 三代の菓子店
 - 大槻の「あん」
 - 赤津の「モグモグ」
 - 舟津の「太田菓子店」

- ・県に大豆の6次化の相談をしたら郡山女子大の先生を紹介してもらえた。森先生を中心にプロジェクトを進めてもらう。
- ・校内で品評会をするときに協力いただいた方に招待状を送るなどして、後の企業のプレゼンテーションの布石にしていきたい。

●湖南地域ホームステイ制度

●古民家再生

- ・県は1件につき500万円の補助をする。
- ・赤津の小山さんが福良に所有する空屋を提供してくれる。
和田さん、日大工学部、小山さんが情報発信に協力してくれる。
- ・勝手に湖南ハイスクール観光案内
各方面の協力で年内に古民家の改築終了し、SNSを利用して情報発信して施設を活用していく。

●その他

- ・本校司書が民話を使い紙芝居や読み聞かせをしたいと考えている。
…民話集のCDや公民館にある資料を提供してもらう。

5 閉会のことば 満田 仁一副会長

※ 諸連絡（遠藤教頭）

次回・第2回は7月9日（金）です。よろしくお願いいたします。

（16:20 終了）